

社会を研究するだけでなく、実際に変えていく「次世代型リーダー」を育成

現代社会学部では、複雑多様な社会やそこで発生する現象・問題をとらえるために、社会学を基盤とする学科ごとの専門的知識に加え、幅広い教養の修得にも多くの学修時間を割いています。また、社会を変えていく力を獲得するためには、修得した知識を使い行動していくことも必要です。そのために、次世代のリーダーに必要となる素養を身につけるための「リーダーシップ科目」や、実践的な「演習科目」を設けています。

■ 現代社会学科(入学定員300名) ○ 地域社会学コース ○ 人間社会学コース ○ メディア社会学コース
■ 健康スポーツ社会学科(入学定員100名)



POINT 1

「導入教育」と「教養教育」の重視

「社会学入門」と少人数クラスの「入門演習」で、社会学の基礎を確実に修得しながら、大学での学び方についても段階的に身に付けていきます。「現代社会の諸問題」では、社会の一線で活躍中の方を講師に招き、現実社会への関心を広げていきます。また文系・理系の学部が京都市上賀茂の一拠点にそろう京都産業大学ならではの学習環境を活かし、初年次から語学や人文・社会・自然科学分野などの幅広い領域の知識に出会いながら、4年間でバランスのとれた教養を身に付けていきます。

POINT 2

学科ごとの専門的な学び

現代社会学科 …… 2年次に「地域社会学」「人間社会学」「メディア社会学」のいずれかのコースに分かれ、将来の進路も見据えながら、さらに深く現代社会をとらえていきます。

健康スポーツ社会学科 …… 社会科学と自然科学をバランスよく配置し、将来の進路が広がる学びを展開していきます。健康スポーツを科学的に追求するための高度な実験・実習設備も整備しています。

POINT 3

実践的な演習科目

社会を変えていく力を高めるためには、知識を修得することだけでなく、それを実践していくことも必要です。そこで、現代社会学部ではその場となる演習を重視。学科での学びを深く掘り下げる「分野特化型」の演習に加え、リアルな社会の課題解決に挑戦する「分野横断型」のプロジェクト演習も開講します。

プロジェクト演習(分野横断型)
コースだけでなく、学科の枠も超え、さまざまな専門的知識や技能を持つ仲間や指導教員と一緒に、現実社会の課題解決に挑戦します。国内外の6つのフィールドから1つ選択し、2年次から複数年にわたりじっくり取り組むなかで、リーダーシップ力も養っていきます。

POINT 4

リーダーシップ科目

社会で活躍するリーダーをゲストに招いた授業などで、リーダーシップの多様なあり方や発揮の仕方などについて実践的に学びます。また、将来の進路を意識して、社会学の専門性と関連した就業力や、社会を変えていくためのキャリアのあり方についても考えていきます。

